

財政収支(2026年1～6月)

(1) 1～6月の歳入は前年同期比39.1%増、税収は同38.7%増。歳出は前年同期比32.7%増。
(2) 1～6月の財政収支は9,428.35億リラの赤字、プライマリーバランスは5,214.14億リラの黒字。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2025年1～6月(A)	2026年1～6月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	55,985.80	77,873.44	39.1%
税収	47,714.57	66,197.41	38.7%
所得税	11,544.62	17,852.88	54.6%
法人税	5,389.03	8,324.69	54.5%
付加価値税(国内及び輸入)	14,639.66	19,821.85	35.4%
特別消費税	8,428.60	9,144.51	8.5%
その他税収	7,712.66	11,053.48	43.3%
税外収入等	8,271.23	11,676.03	41.2%
歳出(b)	65,790.58	87,301.79	32.7%
人件費	17,477.93	24,935.62	42.7%
物品及びサービスの購入	4,131.88	5,982.32	44.8%
経常移転	25,123.16	31,152.57	24.0%
資本支出	4,323.61	4,640.82	7.3%
支払利子(c)	11,114.40	14,642.49	31.7%
その他歳出	3,619.60	5,947.97	64.3%
財政収支(a-b)	▲ 9,804.78	▲ 9,428.35	3.8%
基礎的財政収支(a-(b-c))	1,309.62	5,214.14	298.1%

経常収支(2026年1～5月)

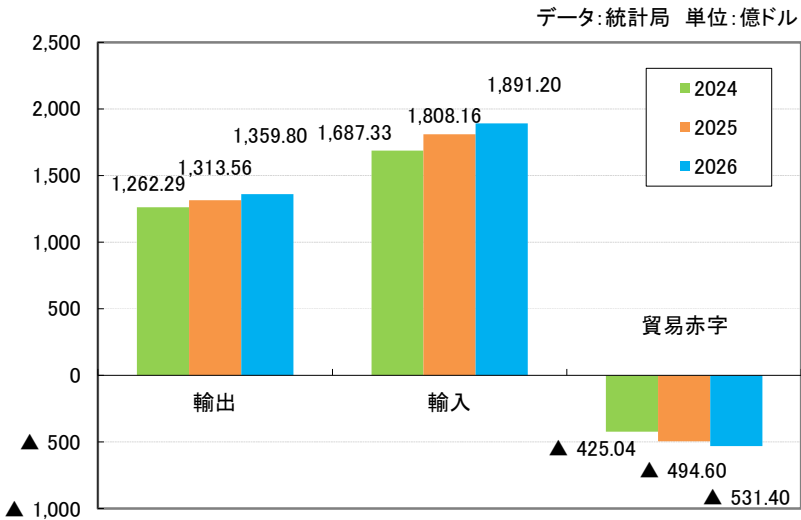
(1) 1～5月の経常収支は、306.79億ドルの赤字(前年同期は237.28億ドルの赤字)。
(2) 1～5月の貿易収支(物品)は350.50億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は138.56億ドルの黒字で前年同期から黒字幅は拡大。

データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2025年1～5月(A)	2026年1～5月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 237.28	▲ 306.79	▲ 29.3%
貿易収支(物品)	▲ 305.42	▲ 350.50	▲ 14.8%
サービス収支	174.75	164.48	▲ 5.9%
旅行収支	138.33	138.56	0.2%
第1次所得収支	▲ 103.77	▲ 110.17	▲ 6.2%
第2次所得収支	▲ 2.84	▲ 10.60	▲ 273.2%
労働者送金	0.15	0.16	6.7%
資本移転等収支	0.01	▲ 0.90	▲ 9100.0%
金融収支	▲ 310.97	▲ 492.47	▲ 58.4%
直接投資	▲ 4.69	▲ 1.95	58.4%
証券投資	54.80	36.65	▲ 33.1%
その他投資	▲ 122.52	▲ 197.85	▲ 61.5%
外貨準備	▲ 231.17	▲ 333.47	▲ 44.3%
誤差脱漏	▲ 73.70	▲ 184.78	▲ 150.7%

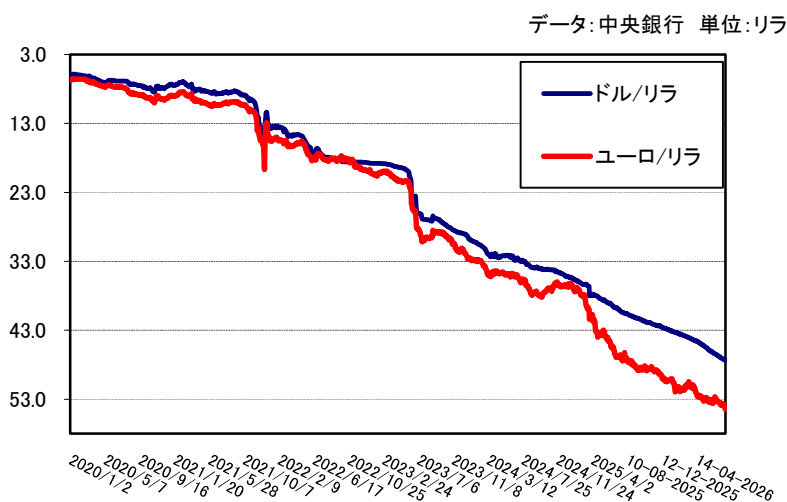
貿易収支(2026年1～6月)

(1) 1～6月の輸出額は1,359.80億ドル(前年同期比3.5%増)、輸入額は1891.20億ドル(同4.6%増)となり、貿易収支は531.40億ドルの赤字(同7.4%赤字幅拡大)。
(2) 1～6月の輸出額におけるEU向けの割合は43.5%(前年同期:43.9%)、輸入額におけるEUからの割合は29.4%(前年同期:31.4%)となっている。



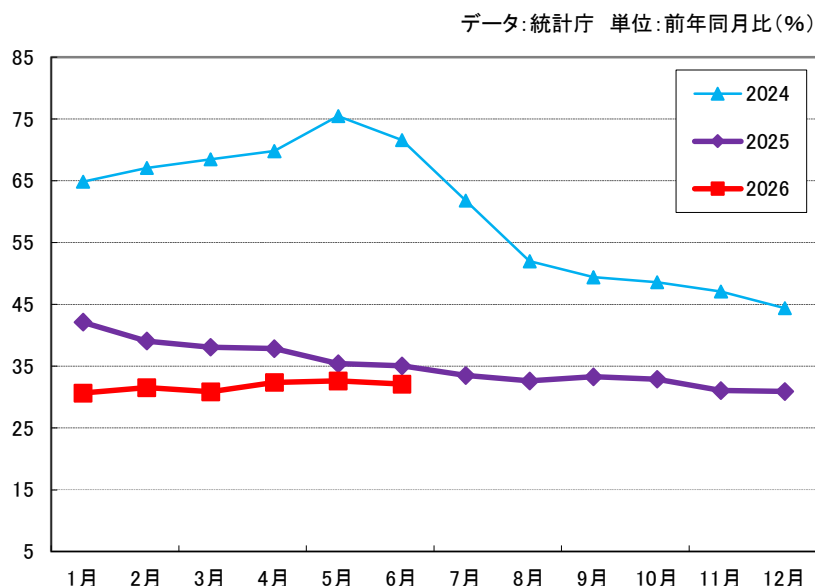
為替(2026年7月)

引き続き、中東情勢の見通し悪化等によるリラ安が進行し、リラは対ドル・ユーロ共にリラ安方向。月末時点では1ドル=47.35リラ(前月末比1.65%安)、1ユーロ=54.48リラ(前月末比2.63%安)となった。



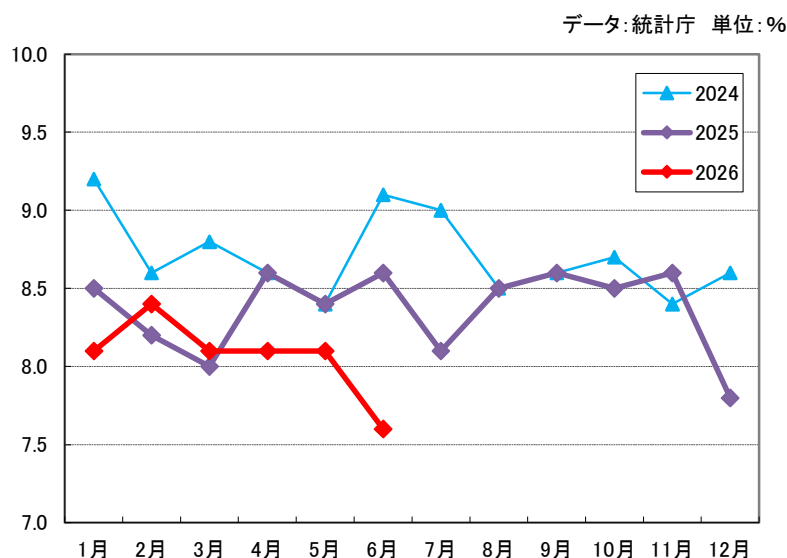
物価(2026年6月)

(1) 6月の消費者物価上昇率は前年同月比32.11%増、前月比0.99%増。
(2) 項目別にみると、前年同月比では教育が46.10%増となり最も上昇した。前月比では、アルコール飲料及びたばこが3.46%増となり最も上昇した。



失業率(2026年6月)

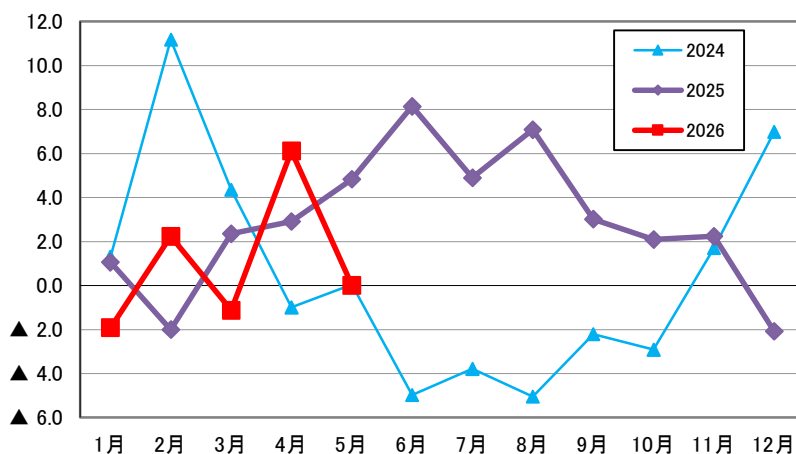
(1) 6月の失業率(季節調整後)は7.6%となり、前月から低下。
(2) 労働力人口は3,542.0万人、就労者数は3,273.3万人、失業者数は268.8万人。
(3) 男性の失業率は6.5%、女性は9.8%。若年層(15-24歳)の失業率は12.8%。



鉱工業生産(2026年5月)

(1)5月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)0.0%増。
(2)分野別では、資本財が前年同月比3.5%減、中間財が同3.2%増、耐久消費財が同4.8%減となった。

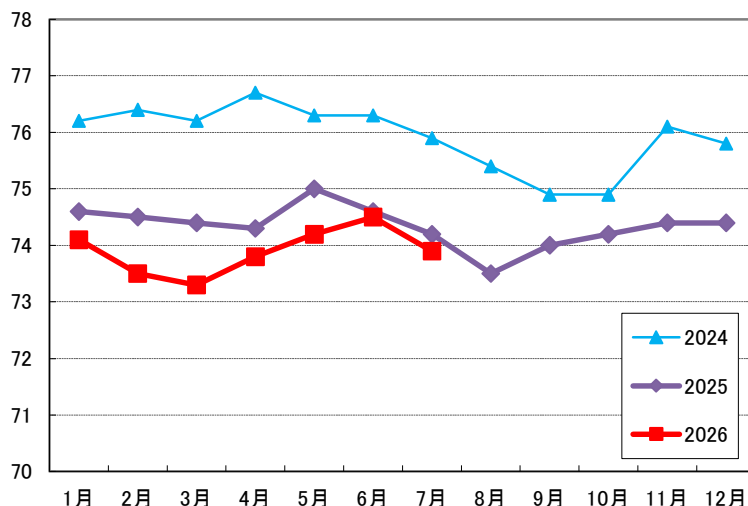
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



設備稼働率(2026年7月)

(1)7月の設備稼働率は73.9%となり、前月から0.6ポイント低下、前年同月から0.3ポイント低下。
(2)分野別では、木材・木製品製造業(84.60%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(58.72%)が最も低い稼働率であった。

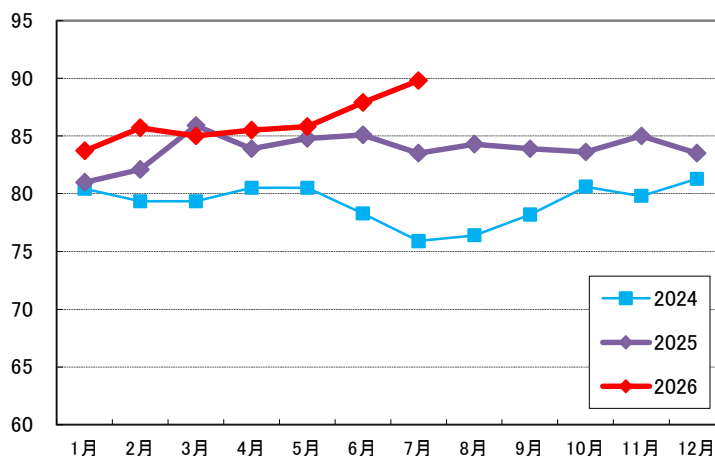
データ:中央銀行 単位:%



消費者信頼感(2026年7月)

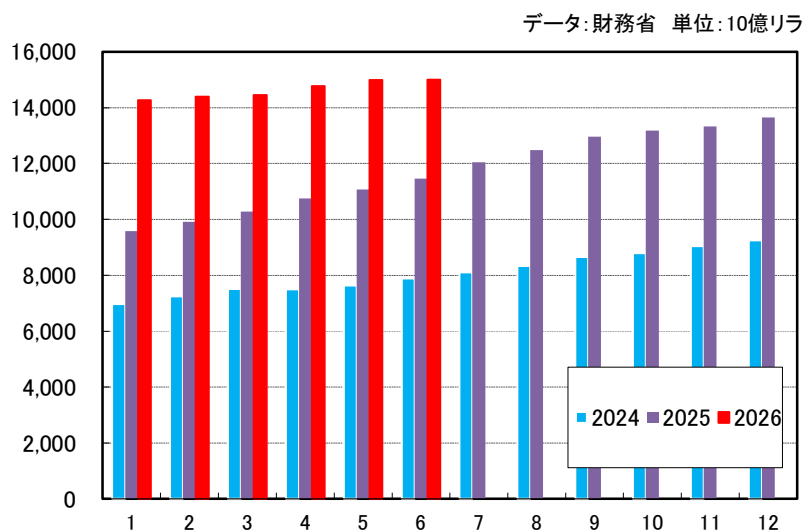
(1)7月の消費者信頼感指数(季節調整値)89.8ポイントとなり、前月から1.9ポイント上昇。
(2)内訳では、「現在の家計の財政状況」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」は前月から上昇、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から低下。

データ:統計庁 単位:ポイント



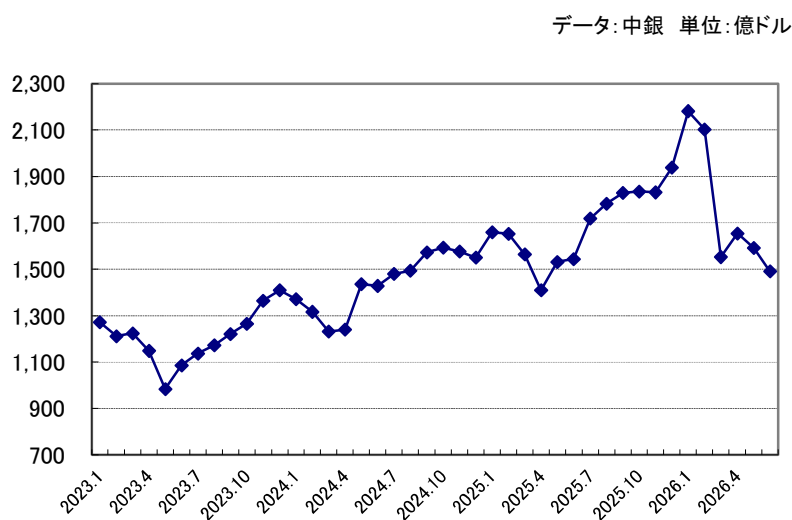
中央政府債務残高(2026年6月)

(1)6月末時点での中央政府債務残高は14兆9,925億リラとなり、前年同月比30.8%増、前月比0.0%増となった。
 (2)また、国内債務比率は60.1%、自国通貨債務比率は48.4%(2025年末は46.9%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.4%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



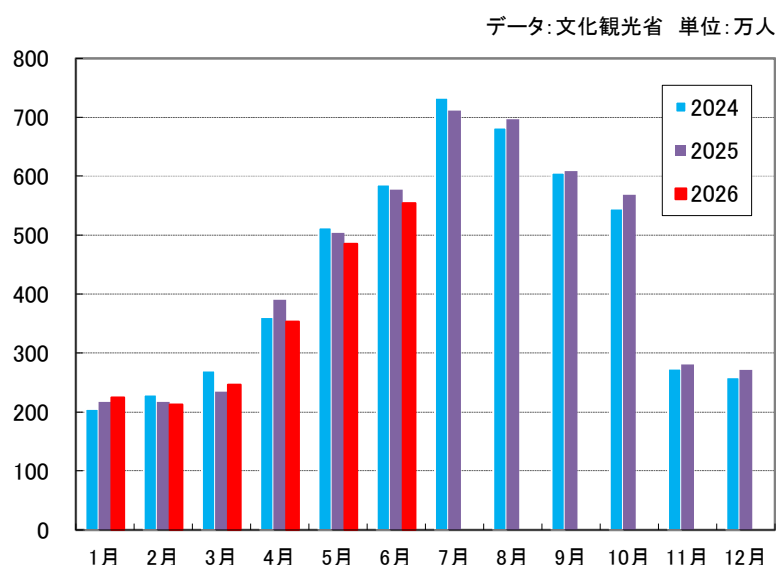
外貨準備高(2026年6月)

(1)6月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,492.0億ドルとなった。
 (2)前月から100.2億ドル減少した。



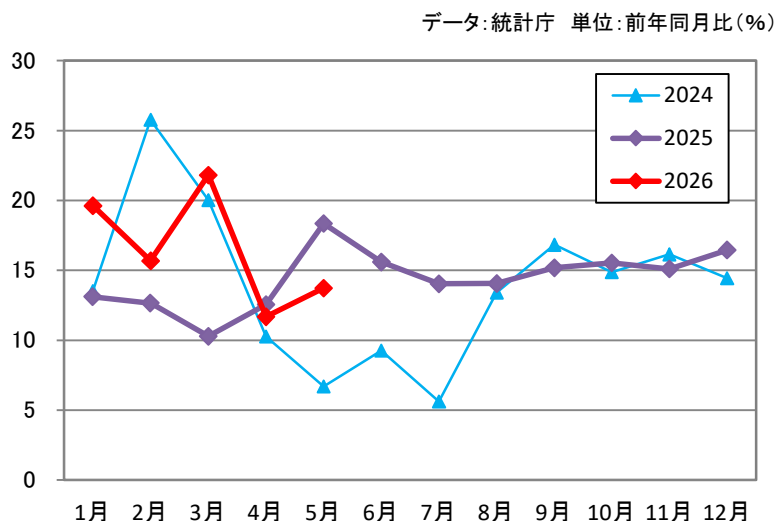
外国人訪問者数(2026年6月)

(1)6月の外国人訪問者数は5,540,424人で、前年同月比4.0%減。日本からの訪問者は9,424人であった(前年同月14,337人)。
 (2)国別ではロシアが最も多く、906,138人で全体の14.4%を占め、以下ドイツ(605,963人)、英国(454,691人)となっている。



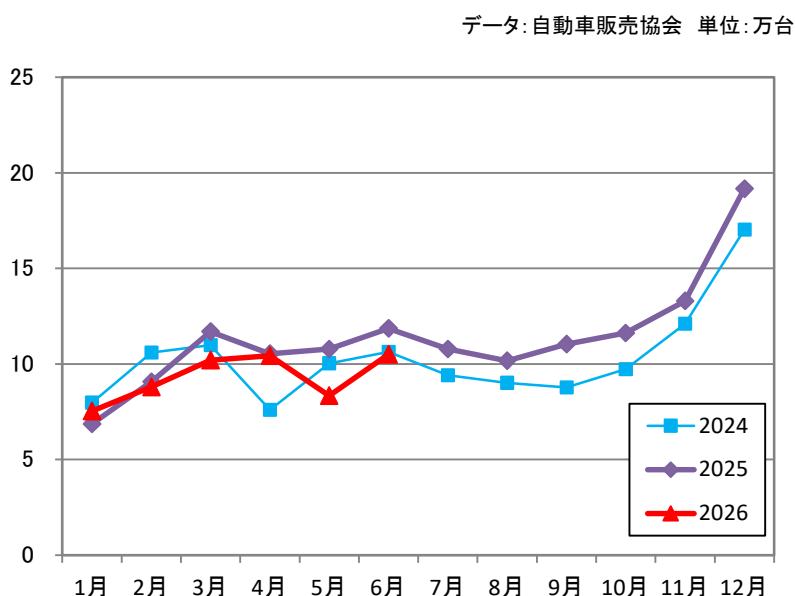
小売売上高(2026年5月)

5月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)13.7%増、前月比(季節及び日数調整後)2.4%増。



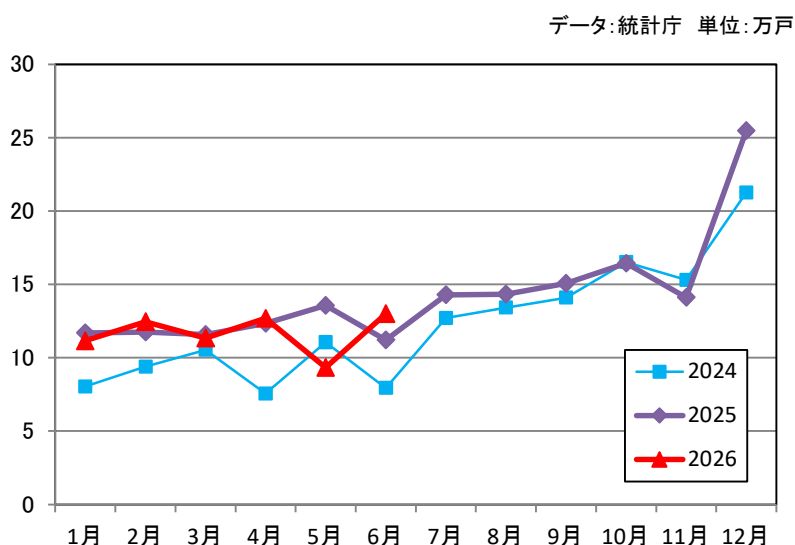
新車販売台数(2026年6月)

(1)6月の新車販売台数は105,041台で前年同月比11.4%減。
(2)6月の内訳は乗用車が83,978台(前年同月比10.4%減)、小型商用車が21,063台(同15.5%減)となった。



住宅販売戸数(2026年6月)

(1)6月の住宅販売戸数は129,979戸で前年同月比15.8%増となった。
(2)新築が43,406戸(前年同月比23.1%減)、中古が86,573戸(同12.5%減)。
(3)住宅ローンでの購入は25,993戸(前年同月比72.1%増)、その他が103,986戸(同7.1%増)。



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。